

昭和29年度才1次

## 調査・研究発表会

『1月17日』 から20日までの4日間、地質調査所において本所職員のほか北海道支所並びに仙台・名古屋・大阪・四国・広島・福岡の各駐在員が出席し、昭和29年度に実施した各種の調査・研究について発表会が行われた。

発表項目は、地質調査所の事業のうち区幅調査、地熱開発調査、含チタン砂鉄・磁硫鉄鉱調査、ウラン鉱床の研究およびゲルマニウム資源調査の5グループと、支所・駐在員事務所が行った中小鉱山技術指導調査の成果のうち代表的なものについて行われ、また各グループの責任者からは総括的な説明がなされた。

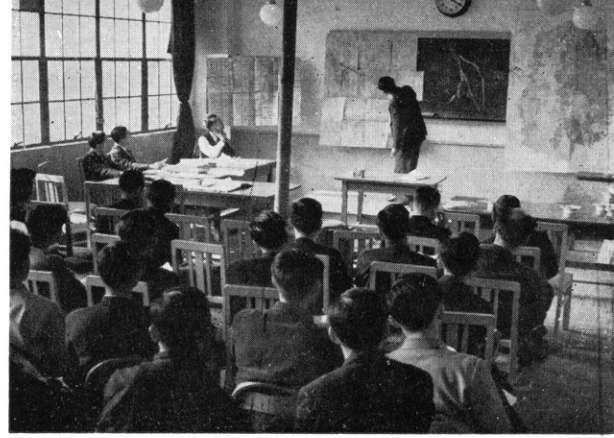
これらの発表とこれに対する熱心な討論によつて、今後における諸問題点がクローズ・アップされるなど、有意義のうちにこの発表会は所期の目的を達し終了した。

なお、今回未発表のものについては今後才2次・才3次の発表会が企画されている。

以下、発表題名を示すと

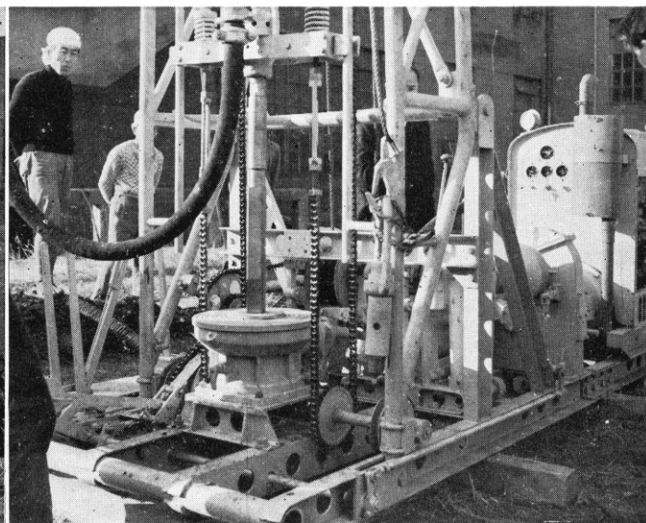
- ・最上亜炭田における炭層中のゲルマニウムについて
- ・秋田県花岡鉱山におけるゲルマニウム調査
- ・北海道日高山地のクローム鉱床の形態的研究
- ・岩手県下既伊郡の石灰石鉱床について
- ・岐阜県花房山鉱山の地質・鉱床について

“S-100m”型試錐機（最大250m掘進可能）



発表会会場

- ・近畿地方の陶石について
- ・流下式塩田用粘土資源の調査
- ・留萌炭田雨竜地区古河鉱業所附近の地質
- ・北海道「幌加内」区幅
- ・北海道「浜益」区幅
- ・北上山地南部「大迫・人首・土淵・遠野および釜石」区幅調査概報
- ・西南日本・中央構造線附近「海南・動木・八幡浜および伊予高山」区幅調査概報
- ・E C A F E 地質図作業部会出席報告
- ・ウラン鉱床の研究について
- ・大分県新木浦附近の錫・磁硫鉄鉱鉱床について
- ・宮崎県黒葛原鉱山における物理探査について
- ・岡山県三原鉱山およびその周辺の地質について
- ・鹿児島県揖宿地区の砂鉄鉱床分布について
- ・青森県天間林附近のチタン砂鉄鉱床について
- ・北海道昭和新山地熱調査報告
- ・宮崎県海老野地熱調査報告



### S-100m 型試錐機

三菱 20HP/1200 R.P.M.  
ガソリンエンジン

自重 2,000 kg  
ビット 5時2分の1  
パイロットビット  
ボーリングロット 5) mm  
回転 35 60 120  
200 R.P.M. 逆転1段  
ポンプ 復箭・復動・往復式  
機械の本体は

長さ 3.440 m  
巾 1.060 m  
ヤグフの高さ 6.725 m  
鋼製分割可能 自動巻起式  
最大索吊荷重 3 トン  
用途 地熱探査の爆発孔掘さく用  
(石曲さく井機製作K.K.製)